

20世紀陶芸界の鬼才

# 加守田章一展

KAMODA Shoji



2005年

7月16日[土] — 9月4日[日]

開館時間 午前9時〜午後5時(入館は午後4時30分まで)  
休館日 月曜日(ただし7月18日を除く)、7月19日(火)

観覧料 一般1000円(800円)、学生800円(600円) ※前売り券はオンラインチケット、山口県内主要プレイガイドで販売しています。  
※(内は前売りおよび20名以上の団体料金です。なお、7歳以上と18歳以下の方、および高等学校、中等教育学校、盲学校、聾学校、養護学校に在学する生徒は無料です。

主催 山口県立萩美術館・浦上記念館、朝日新聞社、Y A B 山口朝日放送 ■後援 萩市 ■協力 全日本空輸株式会社

山口県立萩美術館・浦上記念館

〒758-0074 山口県萩市平安古586-1 電話0838-242400 FAX0838-242401  
ホームページ <http://www.hum.pref.yamaguchi.lg.jp/> 電話0838-242400

壺 1978年 個人蔵



山口県立萩美術館・浦上記念館  
HAGI URAGAMI MUSEUM



# 20世紀陶芸界の鬼才

加守田章二(1933-1983)は、大阪府岸和田市に生まれ、20世紀後半の日本陶芸界に、異色の才能を燦然と輝かせた陶芸家です。高校時代から美術の才能を発揮し、京都市立美術大学(現・京都市立芸術大学)に進み富本憲吉教授のもと研鑽を積みました。1956年に卒業後、茨城県日立市の日立製作所関連の製陶所などで働いた後、1959年栃木県益子町に窯を借りて独立し、本格的な作陶生活を始めました。1961年、鉄釉作品で妻昌子とそろって日本伝統工芸展に初入選したのを皮切りに、1967年には陶芸家として唯一、第10回高村光太郎賞を受賞しました。また同年、伝統的な作風からの脱却を考えて日本伝統工芸展への出品をやめ、岩手県遠野市を初めて訪れました。その後、遠野の新しい陶房と単窯で修行僧のように制作に励み、曲線彫文、彩陶など新境地を次々と発表し遠野時代を確立しました。1974年には、40歳の若さで、陶芸家初の芸術選奨文部大臣新人賞(美術部門)を受賞しました。デザインを研究し、独創的な器形を広く展開した加守田の作品は、従来の陶芸の概念を超え、多くの人を引きつけるとともに高い評価を受けました。また、個展の案内状で「自分の外に無限の宇宙を見る様に、自分の中にも無限の宇宙がある」と述べ、自らの理想に向かって精力的に作陶に励みましたが、50歳を前に天逝し、多くのファンに惜しまれました。

本展は加守田家の協力を得ながら、加守田芸術の世界を約170点の作品で検証する展覧会です。



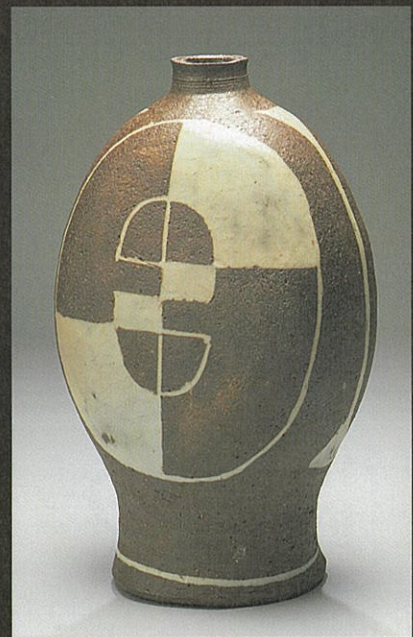
彩色角壺 1972年 岐阜県現代陶芸美術館蔵



鉢 1977年 小川美術館蔵



灰釉大鉢 1967年 栃木県立美術館蔵



壺 1956年 京都市立芸術大学芸術資料館蔵



曲線彫文筒 1970年 個人蔵



彩陶長方皿 1971年 個人蔵



壺 1973年 東京国立近代美術館蔵

## 【萩のイベントのご案内】

山口県ビーチバレーin萩 7月17日(日) 菊ヶ浜海水浴場  
企画展「『宝島』の作者スチーブンスがつづる  
吉田松陰伝」7月9日(土)～9月4日(日) 萩博物館  
萩ヨットレース2005 7月24日(日) 菊ヶ浜沖  
萩・日本海大花火大会 8月1日(月) 菊ヶ浜海水浴場  
萩夏まつり 8月1日(月)～3日(水) 住吉神社・吉田町ほか  
萩・万灯会(迎え火) 8月13日(土) 大照院  
萩・万灯会(送り火) 8月15日(月) 東光寺  
※お問い合わせ=萩市観光課 電話 0838-25-3139  
ホームページhttp://www.city.hagi.yamaguchi.jp/portal/

## 会期中におこなう行事のご案内

### ■ 記念講演

「加守田章二の陶芸」  
日時 7月16日(土) 14:00-15:30  
講師 青木 宏 氏(栃木県立美術館学芸課長)

### ■ 記念講座

「現代陶芸入門―講演と対談」(平成17年度第3回美術講座)  
日時 7月30日(土) 13:30-16:00  
講師 金子賢治氏(東京国立近代美術館工芸課長)  
橋本真之氏(鍛金造形作家)

三輪休雪氏(陶芸作家)  
※上記いずれも聴講無料、定員80名〔受付先着順〕

### ■ ワークショップ

「土火つと遊び隊-のやき体験-」(小・中学生対象)  
日時: [成形] 7月18日(祝・月)、[のやき] 8月5日(金)・6日(土)  
講師 金子 司 氏(陶芸作家)  
※参加無料(ただし傷害保険料必要)、定員40名(7月8日まで申込み先着順)

### ■ ギャラリー・ツアー(担当学芸員による作品解説。観覧券が必要です)

毎週日曜日の11:00～12:00

### ■ 同時開催の展覧会

浮世絵展示「歌川国芳Ⅰ」7月16日(土)～8月7日(日)  
「歌川国芳Ⅱ」8月9日(火)～9月4日(日)  
東洋陶磁展示「やきものに象られた花たち」7月16日(土)～9月4日(日)



## 【交通のご案内】

JR東萩駅=タクシー7分/まあるバス20分/徒歩30分  
JR新山口駅=防長交通「特急はぎ号」65分・中国JRバス  
「特急はぎ号(山口・湯田温泉経由)」83分(萩バスセンター下車、徒歩15分)  
萩・右見空港(島根県益田市)=直行バス75分(萩バスセンター下車、徒歩15分)  
山口宇部空港=萩近鉄タクシー「集合タクシー」75分  
(ただし利用前日までの要予約、電話 0838-22-0924)  
中国自動車道=小1.C. 美穂.I.C.各50分